

近畿ブロック軽費老人ホーム協議会 総会・セミナー

日時：平成28年4月11日(月)15:00～17:20

場所：大阪リバーサイドホテル 4階

1. セミナー: 全国情勢報告 15:00～15:30

- I. 平成28年度 事業方針
- (1)老健事業「サービス提供に要する費用基準等のあり方に関する調査研究事業」申請
 - (2)個別支援計画策定の全軽協モデルを構築する
 - (3)地域アセスメントに対する取組み(制度改革絡み)
 - (4)消費税増税分交付金化、全国展開(経営協連携)
 - (5)職員処遇改善への取組み(意見具申を継続)
 - (6)全都道府県代表でブロックを組織し、ブロック強化で全国組織を強化する。目標:組織率50%(1000)

一般社団法人 全国軽費老人ホーム協議会
理事長 川西 基雄 氏

2. 講演 15:40～17:20

「今後の軽費老人ホーム・ケアハウスの在り方を探る」

—近年の老人保健健康推進事業の内容を中心に—
全国的な展開と各種老健事業の調査結果を報告する。

平成24・25・26・27年度老健事業

講師 昭和女子大学
教授 北本 佳子 氏

3. ブロック総会 17:30～17:45

- ① ブロック代表 挨拶
- ② 議案1 平成27年度、事業並びに収支報告について
- 議案2 平成28年度、事業並びに予算案について
- 議案3 平成28年度～29年度、役員改選について

総括

今回の総会において、提案議題を原案通りご承認戴き、全軽協ビジョンに沿った新年度事業への取り組みが新体制にてスタートすることとなった。
しかしブロックにおいては未だ社員施設のない県もあり組織体制が万全とは言えず地道に社員の増員と組織作りに引続き取り組まねばならない。

またセミナーにおいて全軽協川西基雄理事長の情勢報告にあったように全軽協の現在までの取り組み、とりわけここ数年の軽費老人ホームに係る調査研究事業は改めて生活支援施設の重要性を知らしめ、更に28年度老健事業の募集に対し「地域包括ケアシステムの構築における軽費老人ホームの地域展開にかかる調査研究」をテーマとして応募申請しており、軽費が地域へのソーシャルワークの拠点となり、その存在意義を示すための重要な時期であると言える。

そしてご講演いただいた昭和女子大北本佳子教授から今日までの軽費・ケアハウスの歴史的展開と環境の変化、そこから生まれた新たなニーズと私たちに問われていること、今後果たさなければならない役割、課題について提起いただいたように、今後も継続性のある取り組みが必要であると認識させられるものとなった。